

表1 殺ダニ剤の作用機構分類及び天敵への影響

殺虫剤の作用 機構分類 (IRAC)	農薬商品名	チリカブリダニ への影響	ミヤコカブリダ ニへの影響
25A	スターマイトフロアブル	○	○
25A	ダニサラバフロアブル	○	○
25B+21A	ダブルフェースフロアブル	×	×
21A	ダニトロンフロアブル	×	×
21A	ピラニカ EW	×	×
20B	カネマイトフロアブル	○	○
UN	マイトコーネフロアブル	○	○
10A	ニッソラン水和剤	○	○
10B	バロックフロアブル	×	×
30	グレーシア乳剤	×	×
13	コテツフロアブル	×	×
6	コロマイト水和剤	×	×
6	アフアーム乳剤	×	×
3A	アーデント水和剤	×	×
—	アカリタッチ乳剤	○～△	○～△
—	サンクリスタル乳剤	○～△	○～△
—	粘着くん液剤	○～△	○～△
—	フーモン	○～△	○～△

※ —：物理的作用（気門封鎖）

※ 日本生物防除協議会資料およびメーカー資料を参考にした。

○：影響なし、△：やや影響あり、×：影響あり

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

